

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	日高川入相花王	短評	歎操山人		外題/大評判竹本不断桜		①宝暦9年中秋カ ③『日本庶民文化史料集成』第7巻人形浄瑠璃（昭和50年10月・三一書房・芸能史研究会＝編）等に所収
	日高川入相花王	評判記			古今/評判儀多百轟頁		①安永6年6月 ③『日本庶民文化史料集成』第7巻人形浄瑠璃（昭和50年10月・三一書房・芸能史研究会＝編）等に所収
	入相桜 日高川の段	注釈	蓼沼祐太郎・山沢簡＝編		義太夫難句詳解	前編	①明治37年2月 ④田沼書店
	日高川入相花王 真那子庄司館の段に就いて	解説	竹本其太夫	鶴沢名門二	浄曲/百段語り物の訳		①明治39年4月 ④其中堂書店
	三熊野ノ那智詣紀泉十日の旅（第二回）	解説	柳雨子		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第47号	①明治39年3月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③真那古の庄司について
方278	京鹿子娘道成寺	研究	三田村玄龍（鳶魚）		芝居と史実 三田村鳶魚全集	第18巻	①明治44年1月 ④政教社 ③清姫伝説について ①昭和51年5月 ④中央公論社
ブ13、カ278	女が嫉妬する狂言のいろ／＼	解説	厚見老人		演芸画報	第2年 第4号	①大正4年4月 ④演芸画報社
	浄瑠璃道成寺現在蛇鱗に就て	研究	西山隆二		謡曲界	第26巻 第1号	①大正16年1月 ④謡曲界発行所
	道成寺芸術の展開	研究	高野辰之 近世文芸研究 叢書刊行会＝ 編纂		日本演劇の研究 近世文芸研究叢書 第二 期芸能篇19 歌舞伎19	第2集	①昭和3年6月 ④改造社 ①平成9年4月 ④クレス出版 ③高野辰之『日本演劇の研究』を収録
	浄瑠璃に於ける『娘道成寺』	研究	秋葉芳美		浪花/名物 浄瑠璃雑誌	第415号	①昭和17年12月 ④浪花/名物 浄瑠璃雑誌社 ③「京鹿子娘道成寺」と「日高川入相花王」について
	娘道成寺（安珍清姫の事）	考証	坂本箕山		戯曲と史実 芝居と史実		①昭和18年8月 ④日比谷出版社 ①昭和22年1月 ④東照堂
	歌舞伎百趣 31京鹿子娘道成寺「日高川入相花王」 「押戻」	参考	堂本寒星		歌舞伎百趣		①昭和24年7月 ④河原書店

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	日高川入相花王	解説 梗概	鶴見誠		増補/改訂日本文学大辞典	第6巻	①昭和26年4月 ④新潮社 ③藤村作＝編纂
	因会文楽の『舞台』と『背景』	劇評	大鋸時生		演劇評論	第3巻 第8号	①昭和30年8月 ④演劇評論社 ③昭和30年6月四ツ橋文楽座所演
	1 浄瑠璃の作者と作品 全盛期の豊竹座の作者 並木宗輔 *道成寺現在蛇鱗	解説	大西重孝・吉 永孝雄		文楽		①昭和34年3月 ④講談社 ③三村幸一＝写真、文楽座＝編
	2 名作の舞台 *日高川入相花王	解説 写真					
	道成寺物	参考	渥美清太郎		演劇百科大事典	第4巻	①昭和36年3月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編著代表
					総合日本戯曲事典		①昭和39年2月 ④平凡社 ③河竹繁俊＝編纂
	義太夫物の道成寺	解説	牧村史陽		史陽選集	26・27 道成寺物 語	①昭和41年3月 ④史陽選集刊行会
	安珍・清姫物語―道成寺縁起― 日本の伝説 鬼退治と鐘縁起 女の執念はなし 道成寺の吊鐘縁起	史跡 解説			伝説と奇談	第6集 近畿②	①昭和42年10月 ④山田書院 ③玉野惣次郎＝制作、寺井守男・他＝編
	文楽の近松忌	劇評	藤田洋		演劇界	第31巻 第6号	①昭和48年6月 ④演劇出版社 ③昭和48年5月東京国立劇場小劇場所演（短評）
	関西劇信 二人の沖田総司と文楽帰朝公演	劇評	北岸佑吉		演劇界	第32巻 第10号	①昭和49年9月 ④演劇出版社 ③昭和49年7月朝日座所演（短評）
	文楽の風土20 「日高川入相花王」の日高川の段		吉永孝雄		大阪	99	①昭和49年8月 ④大阪府観光連盟 ③『吉永孝雄の私説昭和の文楽』（平成7年5月・和泉書院）に拠る
	怪奇もの （二六）安珍・清姫の実説	考証	荒川秀俊		江戸の実話 〈実事譚の世界〉	1	①昭和51年5月 ④桃源社 ③桃源社新書
	文楽名作鑑賞 日高川入相花王	鑑賞	山田庄一		文楽入門		①昭和52年6月 ④文研出版 ③文研の芸能鑑賞シリーズ

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
584、622	道成寺の戯曲	解説 梗概	横道万里雄		季刊邦楽	17号	①昭和53年12月 ④邦楽社 ③「鐘巻」「道成寺現在蛇鱗」「日高川入相花王」の梗概
	ご鑑賞の手びき 「縁起」に因む「壺坂」と「日高川」	鑑賞	林喜代弘		朝日座筋書		①昭和55年4月 ④文楽協会
	鶴沢重造引退の花道飾る	劇評	内山美樹子		文楽 二十世紀後期の輝 き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部 ③昭和55年5月東京国立劇場小劇場所演。初出 =「読売新聞」昭和55年5月14日
	季節感のある舞台	劇評	杉本嘉代子		演劇界	第38巻 第6号	①昭和55年6月 ④演劇出版社 ③昭和55年5月東京国立劇場小劇場所演
	八〇年の文楽	評論	内山美樹子		演劇年報	一九八一 年版	①昭和56年5月 ④早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 ③昭和55年5月東京国立劇場小劇場所演（短 評）
	一九八〇年の文楽				文楽 二十世紀後期の輝 き—劇評と文楽考—		①平成22年2月 ④早稲田大学出版部
カ278	日高川入相花王	梗概 解説			未翻刻戯曲集	7	①昭和56年3月 ④国立劇場調査養成部芸能調査室 ③解題、初演番付・絵尽し付載
ブ13、522	* 道成寺現在蛇鱗 * 日高川入相花王	解説	内山美樹子		道成寺		①昭和57年11月 ④小学館
カ278	「道成寺」芸能の構成	研究	服部幸雄				
354	日高川入相花王	解説 梗概	灰田由記子		浄瑠璃作品要説	<3>近松 半二篇	①昭和59年3月 ④国立劇場
	日高川入相花王	解説 梗概	大久保忠国		日本古典文学大辞典	第5巻	①昭和59年10月 ④岩波書店
	「ゆかりの地」あれこれ	解説	田結荘哲治		国立文楽劇場文楽公演解 説書	第11回	①昭和60年11月 ④国立劇場
	Ⅲ音で楽しむ名曲の数々 5 三味線の音色の集積	鑑賞	茂手木潔子		文楽 声と音と響き		①昭和63年1月 ④音楽之友社
354	道成寺現在蛇鱗	解説 梗概	土井順一		浄瑠璃作品要説	<5>西沢 一風・並 木宗輔篇	①昭和63年3月 ④国立劇場
	日高川入相ざくらに寄せて	解説	小野成寛		国立文楽劇場文楽公演解 説書	第23回	①昭和63年3月 ④国立劇場
	「日高川入相花王」の原作 花の王さくら木	解説	景山正隆 徳江元正		国立劇場歌舞伎公演解説 書	第149回	①昭和63年10月 ④国立劇場

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	白拍子花子と清姫	鑑賞	渡辺保				
	『楠昔噺』と『新薄雪物語』	劇評	藤田康雄		演劇界	第49巻 第5号	①平成3年5月 ④演劇出版社 ③平成3年4月国立文楽劇場所演
	第三部 名作の鑑賞 時代物 日高川入相花王	解説	藤田洋・森西 真弓		文楽ハンドブック		①平成6年12月 ④三省堂 ③平成15年3月改定版、平成23年2月第3版
	『帯屋』小松大夫の復調に拍手	劇評	藤本和生		演劇界	第53巻 第1号	①平成7年1月 ④演劇出版社 ③平成6年12月東京国立劇場小劇場所演
	哀切感盛り上げる文雀の『葛の葉』	劇評	田結荘哲治		演劇界	第54巻 第5号	①平成8年5月 ④演劇出版社 ③平成8年4月国立文楽劇場所演
	にぎやかに綱大夫襲名披露 玉男の保名の名人芸	劇評	宮辻政夫		上方芸能	124号	①平成8年8月 ④『上方芸能』編集部 ③平成8年4月国立文楽劇場所演（短評）
	たっぷりと満腹感のある「酒屋」	劇評	田結荘哲治		演劇界	第58巻 第6号	①平成12年5月 ④演劇出版社 ③平成12年4月国立文楽劇場所演
	真骨頂示す嶋大夫・清介の「重の井子 別れ」	劇評	片山剛		上方芸能	137号	①平成12年8月 ④『上方芸能』編集部 ③平成12年4月国立文楽劇場所演
	玉男の大きさを確かめつつー平成十二 年上半期の文楽ー	劇評	富岡泰		歌舞伎 研究と批評	26	①平成12年12月 ④歌舞伎学会 ③平成12年4月国立文楽劇場所演
	文楽の名作ダイジェスト 『日高川入相花王』	鑑賞	阿部俊夫		NHK 日本の伝統芸能		①平成13年4月 ④日本放送出版協会 ③文楽鑑賞入門Ⅷ
	上演演目あれこれ 日高川入相花王	鑑賞	高木浩志		内子座文楽公演プログラム	第6回	①平成14年8月 ④内子町教育委員会
	近松半二の作品にみる「京鹿子娘道成 寺」と富十郎の芸の撮取	研究	林久美子＝著 ／京都橘女子 大学女性歴史 文化研究所＝ 編		京都の女性史		①平成14年10月 ④思文閣出版 ③「日高川入相花王」以降の近松半二作品の道 成寺物について
	文楽歴史散歩	史跡	田結荘哲治		文楽地方公演プログラム		①平成16年9月（10月公演） ④文楽協会 ③一言
	幕間つれづれ話 * 竹澤団七 * 大道真<波>	参考	榎その＝文・ 漫画	竹沢団七			③渡し場の段

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	文楽・知識の泉⑦ * 日高川渡し場	解説	高木浩志		国立文楽劇場文楽公演解説書	第98回	①平成17年4月 ④日本芸術文化振興会
	目立つ人形陣の活躍	劇評	廓正子		演劇界	第63巻 第6号	①平成17年6月 ④演劇出版社 ③平成17年4月国立文楽劇場所演
	聴衆の「受け止める力」	劇評	片山剛		上方芸能	157号	①平成17年8月 ④『上方芸能』編集部 ③平成17年4月国立文楽劇場所演
	妖怪化する身体—橋姫と清姫	参考	中村一基		アジア遊学	No.110	①平成20年6月 ④勉誠出版 ③特集〈アジアの心と身体〉
	うっとり見惚れた「揚屋」	劇評	津田類		演劇界	第67巻 第7号	①平成21年7月 ④演劇出版社 ③平成21年5月東京国立劇場小劇場所演（短評）
	文楽歴史散歩	史跡	田結荘哲治		文楽地方公演プログラム		①平成21年9月（10月公演） ④文楽協会 ③文楽地方公演プログラム（平成22年3月）に再掲
	文楽・知識の泉⑩ * 日高川	鑑賞	高木浩志		国立文楽劇場文楽公演解説書	第117回	①平成22年1月 ④日本芸術文化振興会
	「毛谷村」が聴き物	劇評	宮辻政夫		演劇界	第68巻 第3号	①平成22年3月 ④演劇出版社 ③平成22年1月国立文楽劇場所演（一言）
	死と再生の一筋の光	劇評	森田美芽・片山剛		上方芸能	167号	①平成22年6月 ④『上方芸能』編集部 ③平成22年1月国立文楽劇場所演
	清姫 日高川入相花王 日高川	解説 芸談	青木信二・小川知子・出上実＝写真／高木浩志＝文	桐竹紋壽	文楽人形之美 桐竹紋壽写真集		①平成22年6月 ④草場書房
	「尼ヶ崎」に見応え	劇評	亀岡典子		演劇界	第69巻 第10号	①平成23年10月 ④演劇出版社 ③平成23年7・8月国立文楽劇場所演（一言）
	漲るもの、そのすべてに	劇評	森田美芽・片山剛		上方芸能	182号	①平成23年12月 ④『上方芸能』編集部 ③平成23年7・8月国立文楽劇場所演
	体験に喜ぶ	劇評	宮辻政夫		演劇界	第71巻 第8号	①平成25年8月 ④演劇出版社 ③平成25年6月国立文楽劇場所演（一言）

上演資料集 掲載号	題名	種目	執筆者・著者	話者	誌名・書名	号数	備考
	出演者インタビュー * 鶴澤清治	芸談	坂東亜矢子＝ 聞き手	鶴沢清治	博多座文楽公演プログラ ム		①平成25年12月 ④博多座
	清介の三味線	劇評	宮辻政夫		演劇界	第75巻 第1号	①平成28年12月（29年1月号） ④演劇出版社 ③平成28年11月国立文楽劇場所演（一言）
	3章 勝手に決定！TOP5 クズ男& キャラ立ち女 パーチャルインタ ビュー * 清姫 『日高川入相花王』より	入門	上島カンナ＝ マンガ／文楽 協会＝協力		マンガでわかる文楽		①平成31年3月 ④誠文堂新光社 ③佳山泉＝執筆協力、人形浄瑠璃文楽座＝協力
	忠臣蔵第二弾	劇評	宮辻政夫		演劇界	第77巻 第10号	①令和1年9月（10月号） ④演劇出版社 ③令和1年7・8月国立文楽劇場所演（一言）